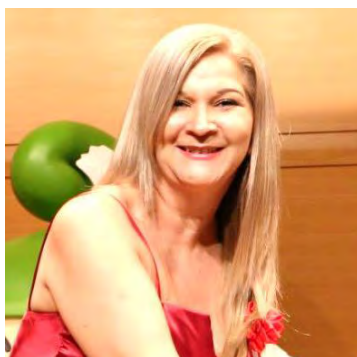




# 西東京市の多文化共生 この10年と今後に向けて

## NPO 法人西東京市多文化共生センター



多文化共生とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。  
(総務省 2006)







## NPO 等企画提案事業 2014～2016



DVD・リーフレット完成記念パネルディスカッション

2014年11月29日



多文化トークと落語の会

2015年11月28日



落語家 三遊亭竜楽氏

外国人市民とサポーターのステージ&日本語教室展示

2015&2016



さまざまなイベント 2007～



2007年～  
留学生ホームビジット



2009年～2011年 ひょうたん島ワークショップ



2011年～  
西東京市日本語スピーチコンテスト





2007~  
“英語で楽しく！”



英語で楽しく保護者プログラム



2011年~  
多文化体験 “with kids”

西東京市多文化共生センター他

2009年4月1日  
開所式



通訳ボランティアの  
みなさん



窓口相談風景



2009年から  
防災訓練に参加



2010年～  
多文化サロン



# 西東京市の多文化共生 この10年と今後に向けて



NPO 法人西東京市多文化共生センター (NIMIC)

# 西東京市の多文化共生この10年と今後に向けて

## 目次

### はじめに

---

P1

### お祝いのことば

---

丸山浩一市長

P2

### 10周年に寄せて

---

小関俊典生活文化スポーツ部長

P3

### 西東京市多文化共生 10年年表(2006～2016)

---

NIMIC のできごと・多文化関連 西東京市の動き

P4

### NPO 等企画提案事業報告

---

2014 年度～2016 年度

P6

### 多文化共生に関わる事業全体について

---

P8

### 支援事業

---

多文化共生センター相談事業 P9

多言語支援（くらしの情報・通訳ボランティア派遣・翻訳） P10

総合防災訓練・リレー専門家相談会 P12

子ども日本語教室 P13

P9

## 交流事業

---

- 留学生ホームビジット P15
- 西東京市日本語スピーチコンテスト P16
- 子ども対象 英語で楽しく P17
- 多文化体験 with Kids P18
- 多文化サロン（多言語サロン） P19
- その他の交流事業（ひょうたん島ワークショップ等） P20

P15

## 広がり事業

---

- 各種講座 P21
- 日本語ボランティア連絡会について P26
- 西東京市日本語（ボランティア）教室案内 P27
- 西東京市日本語（ボランティア）教室 P28
- NIMIC の広報活動について P34

P21

## 多文化共生アンケート調査結果

---

- 外国人市民実態調査・日本人市民意識調査結果
- 調査の目的と背景、調査対象者区分と調査方法、調査項目 P36
- 有効回答票数、全人口比較、および限界について P38
- アンケート調査結果の概要 P40
- 外国人市民の集計結果 P43
- 日本人市民の集計結果 P53
- NIMIC 会員の結果抜粋 P60

P35

## 今後に向けて

---

P62



## はじめに

2016年12月現在、西東京市の外国人人口は3,911人、全人口の2%となっており、2011年に出された<sup>すいけいち</sup>推計値（2028年に1.9%）を<sup>うわまわ</sup>上回るスピードで増加しています。

「多文化共生」という言葉が西東京市に広がる最初の一步は、2004年9月に市が「国際交流組織設立検討懇談会」を<sup>しょうしゅう</sup>招集し、10人のメンバーが1年間13回の会議を通して<sup>ていげんしょ</sup>提言書「多文化共生社会に向けて」をまとめたことでした。提言書の理念に沿って「西東京市に住み、働き、学び、国籍や民族を<sup>こと</sup>異にする人々が、<sup>たいとう</sup>対等な市民として共に生きる多文化共生社会の創造に<sup>きよ</sup>寄与するとともに、相互の信頼と共生の精神を<sup>はぐく</sup>育んでいく」ことを目的に2006年3月に西東京市多文化共生・国際交流センターを立ち上げました。2008年に<sup>ほうじんかく</sup>法人格を取得、NPO法人西東京市多文化共生センターと改称し、市と協力しながら多文化共生事業を<sup>てんかい</sup>展開、2016年3月に10周年を迎えました。

2006年に総務省は「多文化共生推進プラン」を<sup>かか</sup>掲げ、外国人の出入国は国の責務とした上で、地域社会への受け入れは<sup>きそ</sup>基礎自治体の役割としました。2012年、国は<sup>じゅうみんきほん</sup>住民基本台帳法を改正し、外国人住民も日本人と同じ住民サービスの対象者であるとなりました。このように<sup>がいぶかんきょう</sup>外部環境が変化していく中で、西東京市での10年間の事業を振り返り評価するとともに、外国人住民の<sup>じったい</sup>実態や日本人住民の意識調査を行い、今後に向けての課題の抽出が必要だと考えました。諸般の状況から、全市民対象<sup>むさくいちゅうしゅつ</sup>無作為抽出の調査は実施できなかったため調査結果に<sup>かたよ</sup>偏りがあることは<sup>いな</sup>否めませんが、我々の手の届く<sup>はんい</sup>範囲での調査結果をまとめ、今後の<sup>ししん</sup>指針としたいと考えます。

2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピックで、東京を訪れる外国人の増加も見込まれ、受け入れ<sup>たいせい</sup>態勢の<sup>せいび</sup>整備が<sup>きゅうむ</sup>急務となっています。訪日外国人への対応は在住外国人への対応の延長線上にあり、外国人が日本人と共に安心して暮らせる「多文化共生のまちづくり」を進めることが<sup>かんよう</sup>肝要です。「多文化共生のまちづくり」は外国人支援のみでなく、お互いを<sup>そんちよう</sup>尊重しながら共に活動する<sup>いとな</sup>営みです。活動に関わる方はもちろん、市の職員の皆さま、多くの市民の皆さまにお読みいただき、ご意見を頂ければ幸いです。多文化共生に関わるイベントとともに、調査と報告書作成が市のNPO等企画提案事業に<sup>さいたく</sup>採択されたことに感謝いたします。

NPO法人西東京市多文化共生センター <sup>ニミック</sup>（NIMIC）代表理事 山辺真理子

## お祝いのことば



NPO 法人 西東京市多文化共生センターが設立 10 周年を迎えました  
ことに心からお慶び申し上げます。

貴法人は、2004 年 9 月に市が設置した西東京市国際交流組織設立検討懇談会を契機  
に発足し、これまでさまざまな国際交流事業に貢献されてきました。

その中でも 2008 年 10 月には特定非営利活動団体として法人化され、2009 年 4 月に  
開設した西東京市の多文化共生の拠点である「西東京市多文化共生センター」を受託  
していただき、これまで多文化共生にむけた根強く幅広い活動を取り組まれてきまし  
た。

役員の皆様を中心に 10 年間継続して活動されてきたことに対しまして、心から敬意  
を表する次第です。

本市は、平成 26 年 3 月に策定した「西東京市第 2 次基本構想・基本計画」でまちづ  
くりの将来像として協働のまちづくりの推進、国際化の推進を掲げている中で、貴法  
人が市との協働でこれまでの多文化共生の経緯や現状をまとめた冊子「西東京市の多  
文化共生 この 10 年と今後に向けて」を作成された事を喜ばしく思います。

今後、この冊子が西東京市の多文化共生の推進、貴法人のさらなる発展の礎になる  
ことを祈念いたします。

また、2020 年の「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」では、多く  
の外国籍の方が訪れ、多文化との共生が注目されることとなります。市としては、「西  
東京市多文化共生センター」を中心にこれまで以上に多文化共生の推進に努めてまい  
ります。貴法人にはこれまで以上の活躍を期待し、西東京市での多文化共生の発展に  
貢献していただきたいと考えております。

むすびになりますが、貴法人のますますの発展と、すべての会員の皆様のご健勝と  
ご多幸を祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。

西東京市長 丸山浩一

## 10周年に寄せて

NPO法人西東京市多文化共生センター設立10周年おめでとうございます。



西東京市誕生後の2001年から2005年にかけて、私は国際交流の事務担当者として、西東京市国際交流組織設立検討懇談会に関わり、またその後のNPO法人西東京市多文化共生センターの設立を見届けさせていただいたという経緯から、このような寄稿の機会に恵まれましたことを大変嬉しく思います。

振り返りますと当初は、“新市”西東京市としての国際交流をいかに進めるかという視点から講演会などのイベントを継続的に実施していました。学識者を招いての講演会は、「日本に良い印象を持ってもらえるよう外国人と接しましょう。」という、外国人留学生や研修生との交流作法を説明するというものが一般的でした。

その後、永住する外国籍住民との関係性にも目が向けられ、多文化共生という概念が広がりました。2004年に市民参加により設置した西東京市国際交流組織設立検討懇談会においても「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくこと」とまとめています。

多文化共生という文脈でながめると、日本人と外国人という国籍の分類に留まることなく、例えば日本人同士であっても、性別、世代、宗教、病歴や障害の有無などの面において、地域に住む多様な人々が共生できる社会の構築というものが、その先に見えてきます。さらに言えば、社会的弱者と言われる方々が潜在能力を発揮でき、地域社会に貢献できる社会（包摂する社会）の姿も素描できます。

こうした意味において、多文化共生の理念は、誰にとっても真に暮らしやすい地域社会の構築にも繋がるものであり、多文化共生の理解促進を目的とするNPO法人西東京市多文化共生センターと市との協働の推進は、大変意義深いものであると考えています。

西東京市生活文化スポーツ部長 小関俊典



西東京市多文化共生 10年年表(2006~2016)

年	NIMICのできごと	多文化関連 西東京市の動き
2004 (平成16)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・西東京市国際交流組織設立検討懇談会発足(9月)</li> <li>・日本語ボランティア養成講座実施(以降継続)</li> <li>・外国人のためのリレー専門家相談会開始(以降継続)</li> </ul>
2005 (平成17)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>提言書「多文化共生社会に向けて」が同懇談会から西東京市へ(10月)</b></li> <li>・「外国語版西東京市生活便利帳Living Guidebook」(英・中・韓)の作成(隔年作成、外国人市民を含む多言語部会が協力)</li> </ul>
2006 (平成18)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>「西東京市多文化共生・国際交流センター」設立</b></li> <li>・設立総会(3月)、設立の会(4月)、会員17名(4月末)</li> <li>・会員むけメルマガ「NIMIC通信」スタート(5月)</li> <li>・多文化共生/国際交流フェスタ(5月)</li> <li>・競演ガーナの太鼓と保谷の和太鼓(6月)</li> <li>・NIMICホームページの開設(7月)</li> <li>・「くらしの情報」16号からNIMIC制作(7月)</li> <li>・「NIMIC通信」で多文化共生に関わる本の紹介スタート</li> <li>・二胡入門講座(10月/2011年まで継続)</li> <li>・留学生とのタベ(交流忘年会)(12月/2010年まで継続)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>←共催</li> <li>←共催</li> <li>・「くらしの情報」NIMICとの協働制作</li> <li>・外国人のためのリレー専門家相談会をNIMICとの共催へ</li> </ul>
2007 (平成19)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「雅楽の会」(2月)</li> <li>・第1回子ども対象「英語で楽しく」(3月/以降継続)</li> <li>・2007年度総会(3月/2008年から5月に移動して継続)</li> <li>・<b>第1回留学生ホームビジット(6月)</b></li> <li>・ボランティア入門講座(5月)、日本語ボランティアフォローアップ講座市と共催</li> <li>・子ども対象「伝承遊び教室」</li> <li>・<b>子ども日本語教室開設(9月)</b></li> </ul> <p style="text-align: center;">2010年度まで協力⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西東京市市民まつりに参加(11月/以降継続)</li> <li>・子ども日本語連絡会スタート(11月/以降継続)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>←共催</li> <li>・ボランティア入門講座、日本語ボランティアフォローアップ講座へのNIMICの企画運営協力開始</li> <li>・多文化共生・国際交流フェスタ実施(5月)</li> <li>←協力</li> <li>・公民館講座「外国人のお母さんのための生活に役立つ日本語講座」(9月～)</li> <li>・子ども日本語連絡会スタート(11月/教育指導課・文化振興課・NIMIC)(以降継続)</li> </ul>
2008 (平成20)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中交流事業天津市川西区訪問(3月)</li> <li>・<b>こども日本語教室谷戸小学校に開設(9月)</b></li> <li>・<b>特定非営利活動法人 西東京市多文化共生センター(NIMIC)としてNPO法人化(10月)</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「くらしの情報」NIMICへ制作委託開始</li> <li>・日本語フォローアップ講座のNIMICへの委託開始</li> <li>←教育指導課が協力</li> <li>・総合防災訓練に、外国人住民へ日本語教室を通しての参加呼びかけ(以降継続)</li> </ul>
2009 (平成21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生センターでの多言語相談・通訳派遣開始</li> <li>・天津市河西区中心小学校と西東京市立東小学校児童の作品交流(6月)</li> </ul> <p style="text-align: center;">協力⇒</p> <p style="text-align: center;">協力⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO等企画提案事業「留学生との世代横断的市民交流」(6～10月/ホームビジット・ひょうたん島WS・展示)</li> <li>・多言語サロン「中国語教室」開始(以降2015年まで継続)</li> <li>・市の総合防災訓練に参加(9月/以降継続)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>西東京市多文化共生センター開設(4月)</b> NIMICにセンターの運営を委託</li> <li>・オリンピックムーブメント共同推進事業 「僕たち、私たちのオリンピック選手村をつくろう！」実施(7月)</li> <li>・市内「日本語ボランティア教室」案内の配布開始</li> <li>・NPO等企画提案事業「留学生との世代横断的市民交流」採択(第1年次)</li> </ul>
2010 (平成22)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化サロン「台湾からの留学生」(2月) 小学校の授業に協力、以降市内各校で展開 ⇒</li> <li>・多文化サロン「韓国出身西東京市在住」(3月)</li> <li>・多言語サロン「韓国語勉強会」開始(以降2011年まで継続)</li> <li>・企画提案事業「留学生との世代横断的市民交流」(6～10月/ホームビジット・ひょうたん島WS・展示とステージ)</li> <li>・「外国籍保護者のための小学校案内・多言語版」作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>多文化共生センターに相談員兼事務員配置(4月)</b></li> <li>・碧山小学校「碧山のまちの外国人と仲良くしよう」</li> <li>・NPO等企画提案事業「留学生との世代横断的市民交流」採択(第2年次)</li> <li>・「外国籍保護者のための小学校案内 多言語版」発行(中国語、タガログ語)</li> </ul>

年	NIMICのできごと	多文化関連 西東京市の動き
2011 (平成23)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌「多文化のわ」発刊(1月)(以降継続)</li> <li>・東日本大震災時の外国人向け情報発信(3月)</li> <li>・多文化サロン「韓国料理教室」(9月)</li> <li>・イベント「子連れde多文化体験」(9月)</li> <li>・NIMICオリエンテーション講座(9月)</li> <li>・<b>第1回西東京市日本語スピーチコンテスト(10月)</b></li> <li>・NIMICホームページリニューアル(11月)</li> <li>・「ひょうたん島WS」(東日本大震災の影響で11月開催)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市職員対象「多文化共生に関する講演会 「多文化共生の『わ』を広げよう」(2月)</li> <li>・通訳ボランティア派遣事業開始(4月)NIMICに委託</li> <li>・東京都在住外国人支援のための合同連絡会議第10ブロック (北多摩地域の自治体・国際交流団体)での会議を定例化</li> <li>・<b>西東京市誕生10周年協賛事業</b></li> <li>・NPO等企画提案事業「留学生との世代横断的の市民交流」 (第3年次)採択</li> </ul>
2012 (平成24)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひょうたん島レポート」発行(2月)</li> <li>・多文化サロン「ギゼラさんのリトアニア」(3月)</li> <li>・多文化サロン「ペンさんのタイの生活と伝統行事」(8月)</li> <li>・<b>第2回西東京市日本語スピーチコンテスト(10月)</b> この回から実行委員会形式(以降継続)</li> <li>・介護関連講座(東京都新しい公共支援事業)</li> <li>・子連れde多文化体験 <ul style="list-style-type: none"> <li>①「体験してみよう いろんな国の遊び」(7月)</li> <li>②「バンブーダンスをおどってみよう！」(10月)</li> </ul> </li> <li>・ホームビジット秋の交流会(10月/2013年まで継続)</li> <li>・多文化サロン特別編「ペンさんのかんたんタイ料理」(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO等企画提案事業「留学生との世代横断的の市民交流」</li> <li>←共催</li> <li>・NPO等企画提案事業「子連れで多文化体験」採択</li> </ul>
2013	<ul style="list-style-type: none"> <li>③「韓国のあそびや音楽を楽しもう！」(2月)</li> <li>・「くらしの情報」100号記念(7月)</li> <li>・子ども日本語教室保谷第一小学校に開設(10月)</li> <li>・「フォローアップレポート」作成(12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO等企画提案事業「子連れで多文化体験」</li> <li>・<b>くらしの情報100号</b></li> <li>←教育指導課が協力</li> </ul>
2014 (平成26)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「フォローアップレポート」市長に提出(1月)</li> <li>・<b>「外国につながる子どもたちの支援について」 教育委員会とNIMICが覚書手交(4月)</b></li> <li>・メルマガ「NIMIC通信」100号(7月)</li> <li>・DVDおよびリーフレット2種制作(10月)</li> <li>・「DVD完成記念講演会」(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NIMICから「フォローアップレポート」(1月)</li> <li>・<b>教育委員会/NIMIC間で「日本語指導が必要な児童・ 生徒に対する教育的支援に関する覚書」締結(4月)</b></li> <li>・NPO等企画提案事業「西東京市の多文化共生を進める ために」採択(第1年次)</li> <li>・西東京市ホームページ自動翻訳機能開始</li> </ul>
2015 (平成27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「外国籍保護者のための小学校案内」改訂・英語版追加</li> <li>・アスタセンターコートで展示とステージ(7月)</li> <li>・<b>NIMIC10周年記念 「第5回西東京市日本語スピーチコンテスト」(10月)</b></li> <li>・「多文化トークと落語の会」(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>←協力</li> <li>・NPO等企画提案事業「西東京市の多文化共生を進める ために」採択(第2年次)</li> <li>・10ブロック会議にて「北多摩日本語教室ガイド」作成配布 (8月)</li> <li>・NPO等企画提案事業「西東京市の多文化共生を進める ために」</li> </ul>
2016 (平成28)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども日本語教室イングリルから向台小学校に移転 (4月)</li> <li>・「多文化共生アンケート調査」実施(6月)</li> <li>・アスタセンターコートで展示とステージ(7月)</li> <li>・NIMIC会員数=172名(12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>←教育指導課が協力</li> <li>・NPO等企画提案事業「西東京市の多文化共生この10年と 今後に向けて」採択(第3年次)</li> </ul>

## NPO 等企画提案事業報告

毎年ステップアップしながら、最長 3 年間の補助が受けられる市の NPO 等企画提案事業に 2014 年度から 3 年間応募し、採択されて実施した 3 年間の事業概要は以下の通りです。3 年間の継続テーマは、「西東京市の多文化共生を進める」ことでしたが、この冊子は、2016 年度の報告書を兼ね、総集編として過去 10 年間の事業と多文化アンケート調査結果をまとめました。

### 2014 年度

#### 「西東京市の多文化共生を進めるために～広報媒体を利用して」

- ①DVD「多文化共生ってどんなこと？」(約 10 分)を制作
  - ②リーフレット 2 種 (A4 カラー 4 面)を作成
    - ア) 多文化共生ってどんなこと? 2000 部
    - イ) 外国につながる子どもたちとともに 1500 部
  - ③DVD とリーフレット完成記念講演会「みんなで語ろう!多文化共生について」  
を田無公民館視聴覚室にて開催しました。パネリスト 4 名、当日参加者は 23 名。
  - ④「日本語スピーチコンテスト」、「英語で楽しく」など各種イベントで DVD を上映し、多文化共生の理解を促しました。
  - ⑤市関係各部署、市内小中学校、市内協力団体、近隣市国際交流協力団体等にリーフレット 2 種の配布をしました。
- ※この年度に作成した DVD とリーフレットは、その後の各種イベントや講座開催時に「多文化共生」について説明する際、活用しました。

### 2015 年度

#### 「西東京市の多文化共生を進めるために～より多くの人々への働きかけ」

- ①2015 年 7 月 1 日～3 日 アスタセンターコートにおいて、市内のボランティア日本語教室と協力し、活動の現場を紹介するパネル展示と外国出身者によるミニステージを開催しました。ミニステージでは、1 日目はベトナム語、モンゴル語のミニ会話教室。2 日目はコロンビア、ベネズエラのダンス、3 日目はフィリピンの歌とトークが繰り広げられました。ステージの見学者は、3 日間で 220 人。
- ②2015 年 11 月 28 日 コール田無多目的ホールにおいて、「多文化トークと落語の会」を 2 部構成で開催しました。第 1 部は、西東京市在住のトンガと中国出身の外国人 2 人をパネラーとして、日本社会に暮らすことについてパネルトークを行いました。



第2部では国際的に活躍する三遊亭竜楽氏の講演と多言語落語の会を開きました。観客数72人、パネリスト・落語家等関係者6人、実行委員等ボランティア12人。

- ③市内の小学校の授業に外国人とともに参加し、子どもたちの質問に答えリーフレットを配布し、多文化共生の考え方と日本の学校で学ぶ外国につながる子どものことなどを説明しました。

## 2016年度

### 「西東京市の多文化共生～この10年と今後に向けて」

- ①2016年6月30日～7月2日 2015年度に引き続き、アスタセンターコートにおいて、市内のボランティア日本語教室と協力し、活動の現場を紹介するパネル展示と外国出身者によるミニステージ（各日2回）を開催しました。ミニステージでは、1日目にフィリピンの歌と音楽の演奏、2日目にベネズエラとコロンビアの踊り、3日目にインドネシアの踊りが行われました。
- 3日間のミニステージの見学者は475人、パネル展示見学者は226人。
- ②外国人実態調査、多文化共生に関わる人々の意識調査を行い、結果を報告書「西東京市の多文化共生この10年と今後に向けて」（本誌）にまとめました。
- ③学校現場で子どもたちの多文化共生への理解を広げるために、2014年度作成のリーフレットを配布し、外国人当事者の参加による説明・交流イベントを行いました。



## 多文化共生に関わる事業全体について

2006年のNIMIC設立以前は、「多文化共生」という言葉は使われていませんでしたが、日本語ボランティア連絡会（P26 参照）と市の協力により、主に交流と啓発を目的とした萌芽的な事業が行われた年もありました。2008年にNIMICが法人格を取得した後、市との協働事業が進みました。2009年には市の相談窓口「多文化共生センター」が開設され、開設と同時にNIMICに運営が委託されました。2010年度から通訳派遣や翻訳の一部がNIMICに委託されるようになり、住民サービスとしての相談と多言語情報提供という支援事業が整備されてきました。

また、年間を通して入門講座、フォローアップ講座、公開講座等の啓発事業の企画運営にNIMICが協力、または委託を受け実施しています。継続して展開されることによりボランティアの発掘・育成に寄与しており、市民活動のすそ野を広げる一助となっています。

一方、その他の支援事業および交流事業等については行政側に企画運営を担う専門員の配置がなく、市民活動を支援または協働する形で実施されてきました。NIMICは多文化共生に関し知見や人脈、ノウハウを持つ市民団体として、市や市内の日本語ボランティア教室、公民館、ボランティアセンター等諸団体と協力しながら、西東京市における活動を展開してきました。

ここでは、支援活動、交流活動、ネットワークを広げる啓発を含む講座展開や広報等の3つの分野に分けて10年間の事業について概要をまとめます。NIMIC独自のボランティア事業としてスタートし、のちに共催になった事業や委託になった事業もあります。同じ「共催」でも、会場整備や広報と当日運営の一部を市が担う共催（日本語スピーチコンテストP16）、会場整備に加えて申込窓口と参加者名簿作成を市が担う共催（子ども対象 英語で楽しく！P17）、ミーティングにオブザーバ参加し、市が広報に協力する共催（多文化体験 with Kids P18）と様々な共催があります。また市が主体として運営の中心になりますが、プログラムづくりと講師交渉等はNIMICが担う共催（入門講座P21・7行目）もあります。

西東京市におけるこの10年の多文化共生事業全体が見通せるよう、いつ何がどのように行われてきたかに重点を置いてまとめたため、主催者が見えにくい場合があるかもしれません。その際は、併せて年表をご覧ください。

## 多文化共生センターの相談事業

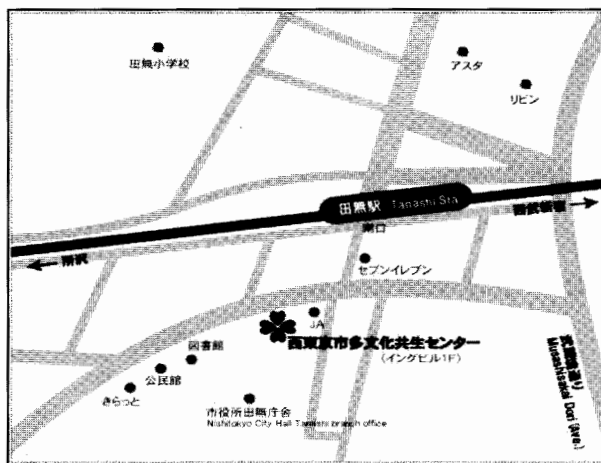
西東京市多文化共生センター（以下、「センター」とします）の相談事業は主に外国人市民を対象に日常生活に関する相談の行政サービスのひとつとして、NIMICが運営委託された2009年4月から実施されています。

センターの相談は今までの外国語による情報提供といった言語サービスレベルの対応から市内のグローバル化にともなって外国人の定住化が進んできたために、多言語による情報提供、地域の行政・公共機関への橋渡しなどが増えてきました。専門家アドバイスが必要な場合は専門家へつなぐなど、何か困ったことがあったら直ぐに駆け込める「多言語相談窓口」としてその役割を果たして来ています。

2009年～2016年の実績と活動から見ると、訪れた相談者は38カ国652人、相談件数592件、使用言語は9言語で日本語、中国語、英語、韓国語、台湾語、フランス語、スペイン語、タガログ語、ベトナム語で日本語、中国語、英語が主な使用言語となっています。

相談内容で最も多いのは「日本語教室」（日本語が学べる場所の紹介）と「子どもの教育・進学」で合わせて63%、次に「在留資格・国籍」、「結婚・離婚」、「住居」、「就職・賃金・解雇」の27%であり、このような6種の相談内容で90%を占めています。その他として医療・心理、年金、対人関係、交通事故、税金などがあり、殆どすべての相談に対応しています。

今後も、どこに相談に行けば良いか分からず不安を抱えている外国人住民が、センターに来て母語または自身で理解できる言語で相談をすることにより、ひとりで抱え込まずにすむような環境整備を進めます。そのために相談内容を整理し、必要に応じた的確な対応ができる相談員のレベルアップを図ります。これからも身近な相談窓口として、関連他地域との多言語相談窓口ネットワーク化と専門家との関係維持・充実を図っていくことが必要だと思われれます。



西武新宿線 田無駅南口徒歩2分 イングビル  
 窓口時間：月～金曜日 10:00～16:00  
 (12:00～13:00 昼休み)



## 多言語支援

### ・市報抜粋の多言語版「くらしの情報」

市報から外国人に関連する記事を抜粋し、「やさしい日本語ルビ付き」「英語」「中国語」「韓国語」の4言語に翻訳し、「くらしの情報」として発行しています。15号までは有志で翻訳作業をしていましたが、2006年7月の16号よりNIMICに移管、2008年4月から市の委託事業になり、現在の143号(2017年2月)に至っています。毎月1回発行し、市役所、公民館などの公共施設の他、各ボランティア日本語教室などに配布しています。それぞれの言語への翻訳・チェック作業を、市報の発行後間を置かず発行出来るよう、限られた時間の中で編集を含め24人のボランティアが活動しています。ボランティア同士がメールで翻訳・編集のやりとりをしているため、なかなか顔を合わせる機会がありませんが、年に一度は意見交換や交流を行っています。



くらしの情報 142号

### ・通訳ボランティア派遣

2009年度から市の委託を受け開始した通訳派遣事業です。日本語がわからない外国人のために、市の行政機関、教育機関、福祉事業者等との間で行われる手続き、相談又は面談へ通訳を派遣しています。通訳言語は英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、フランス語、タイ語などで、NIMICに登録した通訳ボランティアが活動しています。現在の登録人数は、通訳、翻訳合わせて9カ国語48人です。

この事業は8年目を迎え、少しずつ周知が進み依頼も増えてきていますが、まだ十分に広まっているとは言えない状況です。言葉がわからない外国人市民も分け隔てなく生活の情報が得られ市のサービスが受けられるよう、また子どもは学校生活で困ることがないように通訳派遣を行き渡らせていくことが今後の課題です。

#### 【各年度の通訳派遣件数】

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016(12月現在)
件数	0	4	11	20	20	10	19	16

## ・ 翻訳

市から依頼されたもの、NIMIC が作成した発行物などの翻訳を NIMIC に登録した翻訳ボランティアが翻訳、チェックしています。NIMIC のホームページの翻訳も順次進めています。

### 【翻訳履歴】

2011	高校進学ガイダンス	英語
	ガス復旧訓練（Web 訓練・電話相談訓練）	英語 中国語 韓国語
	小学校入学案内	中国語 タガログ語
2012	3,4 か月児健康診査（資料&アンケート）	英語
	1 歳お誕生相談会（資料&アンケート）	英語
	2 歳すくすく相談会（資料&アンケート）	英語
	3 歳児健康診査（資料&アンケート）	英語
	BCG 接種後の注意	英語
	眼と耳と尿の検査のお知らせ	英語
	H P 自動翻訳サービス案内	英語 中国語（簡体・繁体） 韓国語 ポルトガル語 タイ語 タガログ語
	地震発生フローチャート	英語 中国語 韓国語 タガログ語
	障害福祉課資料（訪問看護で確認する項目）	韓国語
	健康検査質問票	英語 中国語 韓国語
2013	多摩六都科学館「館内マップ」	英語 中国語 韓国語
	西東京市図書館利用案内	英語
	通訳ボランティア派遣事業案内・依頼書	英語 中国語 タガログ語
	防災マップ外国人向け情報ページ	英語 中国語 韓国語
2014	危機管理室外国人情報	英語 中国語 韓国語
	健康診査及びがん検診質問票	英語 中国語 韓国語
2015	結核健診問診票・精密検査のお知らせ	英語 中国語 韓国語
	胸部健診問診票	英語 中国語 韓国語
	市 H P 多言語翻訳ガイド	英語 中国語 韓国語
2016	西東京市はなバスルート	英語 中国語 韓国語
	市 H P 用掲載原稿（多言語情報案内）	英語
	ファミリーサポートセンター会員しおり	英語
	小学校入学案内	英語

随時	リレー専門家相談会チラシ	英語 中国語 韓国語 ポルトガル語 フランス語等
	総合防災訓練災害情報 Web 訓練	英語 中国語 韓国語
	J : COM データ放送（総合防災訓練）	英語 中国語 韓国語
	子ども日本語教室リーフレット	英語 中国語 韓国語 タガログ語 ポルトガル語
	西東京市日本語ボランティア教室案内	英語 中国語 韓国語

## 総合防災訓練

市は災害が発生した場合や警戒宣言がでると災害対策本部（本部）を設置し、特別非常配備態勢をとり速やかに地域の防災対策を実施します。地域の防災対策の中で、お年寄り、障害者などと同じように外国人も災害時要援護者としての対応が必要となります。

総合防災訓練は災害時での緊急活動ができるように毎年様々な事態を想定した実施訓練となっています。2009年からはNIMICは本部の指示を受け、本部や避難場所へ要員を派遣し必要な情報の翻訳や通訳等、外国人の支援などに協力してきています。

2015年12月に、NIMICは市と「災害時における語学ボランティア活動に関する協定」を締結しています。

## リレー専門家相談会

リレー専門家相談会は、外国人の問題に詳しい専門家や多言語の通訳が待機し、ワンストップで相談対応ができるシステムで、2002年にスタートし現在に至っています。リレー専門家相談会の主旨は以下の4点です。

- ①母語で多分野の専門家のアドバイスがワンストップで受けられる
- ②自治体が主催する場合でも居住地に関係なくだれでも利用できる
- ③それぞれの団体が年1回開催主催し都内を巡回することで各団体の負担を軽減し、外国人住民が年間を通じて専門家相談を受けられる
- ④地域に暮らす外国人の問題を市民として共有する場として位置づけ、多くの市民に関わってもらう

西東京市は2004年度（2005年3月21日）からこのリレー相談会に参加し、これまでの12年間、相談者は21カ国108人、相談に対応した専門家は12分野151人、参加した語学ボランティアは111人となっています。相談内容は、多い順に結婚・離婚・家族、在留資格・ビザ・旅券、保険・年金、労働関係、税金、住居・不動産、借金・保証、交通事故・損害保険、国籍・帰化、医療・健康・心理、対人トラブル、刑事・犯罪・警察、子ども・教育・学校等となり、上位4相談で75.3%を占めています。「相談者」1人に対して「相談件数」の平均は1.7件となっており、1人の相談者に分野の違う専門家が複数対応しており、相談内容がより難しく複雑化してきています。NIMICは設立以来、リレー専門家相談会の運営全般に協力、共催をしています。



## 子ども日本語教室

子ども日本語教室は、日本語が理解できないために学校の授業についていけない外国につながる子ども（日本国籍でも日本語が母語ではない子どもがいるためこの呼称を使用）に日本語の指導をし、授業を理解し学校生活に馴染むことを目的とした教室です。子どもは会話にはすぐに慣れ、友達とは話せるようになりますが、授業では教科書特有の言葉もあり理解できるようになるには時間が掛かります。そのため、少しでも早くクラスの子どもたちと同じように学習に取り組めるよう手助けをしています。

2007年9月、市と共催の子ども日本語ボランティア養成講座の修了後、講座参加者が中心となり教室を立ち上げました。当初は、イングビルでの中学部、小学部の2教室だけでしたが、2008年には谷戸教室（谷戸小学校内）、2013年に保一教室（保谷第一小学校内）が開室し、4教室になりました。2016年4月には小学部イング教室が向台小学校内に移り、向台教室として再出発しました。

市の教育委員会は、市の事業として小学校低学年で40時間、高学年、中学生は50時間の日本語適応指導を行う講師を各学校に派遣し学校内で指導に当たっています。その後の指導を担う公的機関がないため、NIMICが市民ボランティア活動として、子ども日本語教室を展開していますが、各教室は週に1回の開室で子どもたちにとっては不十分な状況です。日本語適応指導を行う派遣講師の紹介や、子ども日本語教室運営協力のため、教育委員会とNIMICは2014年4月に「日本語指導が必要な児童・生徒に対する教育的支援に関する覚書」を交わしており、市内の各学校との連絡調整等にも役立っています。

定住傾向が強く、今後の日本を担う存在として、またクラス内での多文化を体現するリソースとして、子どもたちの適応と自己実現は大きな意味を持ちます。今後もNIMICの重要な事業と位置付けています。

### 【小学部】

保一教室（火曜）、谷戸教室（水曜）、向台教室（木曜）は放課後3時30分から5時まで（谷戸は3時15分から4時45分まで）を学習時間とし、原則として個別指導をしています。

学習の他に、日本の行事を知らない子どもたちのため、お正月、子どもの日、七夕まつりなど季節ごとの行事を教室で体験できるよう図っています。夏休みには教室の外での学習として、市内在住の外国人親子を募り、立川防災館見学、コ

ーラ工場見学、川遊び、プラネタリウム見学、ボーイスカウトの行事体験等を行ってきました。どれもなかなか個人では体験できないものなので、保護者からも「今まで行ったことがなかった。また行きたい。」など好評を得ています。また、毎年12月には「お楽しみ会」として3教室全員の子どもや保護者が一堂に集まり、ゲームをしたりお菓子を食べながらおしゃべりをして楽しく過ごします。ふだん会わない別の教室の人たちとの交流を深めることが出来る貴重なひと時です。3月には6年生のために修了式を開き旅立ちを祝います。

### 【中学部】

イングビルの会議室で毎週木曜日6時から7時30分までの1時間半、学習支援のための教室を開いています。生徒のほとんどが高校進学を希望しているため、受験に対応できる日本語力が付くように学習を進めています。小学校高学年や中学生で初めて日本語を学ぶ子どもたちは、漢字を含めて学ぶことの多さに途方に暮れるようです。それでも気を取り直して頑張る子どもたちをスタッフ一同励ましながら指導しています。

毎年夏には日本の高校受験のシステムを知らない生徒や保護者のために開かれる「外国人のための進学ガイダンス(母語の通訳付き)」にスタッフも共に参加し、本人・家族、教室スタッフが共通理解を持ち、進学をサポートします。

また、中学部でも学習だけでなくイベントを大切にしています。夏休み、春休みを利用してバーベキュー、ピザ作り、博物館見学、12月にはお楽しみ会などを開いています。仲間同士の親睦、勉強以外での自己表現、多様な体験がねらいです。イベントには中学部の卒業生にも声をかけます。卒業生は高校や大学に進学したり、高校卒業後就職したり、専門学校に進んだり様々ですが、声をかけると喜んで参加してくれます。在籍生徒にとって卒業生の頑張りが自分たちの目標になっています。3月には中学部も日本語教室の修了式を開き、彼らの旅立ちを祝います。

## 留学生ホームビジット

留学生ホームビジットは、2007年6月に始まり、2016年6月に10回目を迎えました。西東京市には3000人近い外国人住民が住んでいるのに、交流の機会がないという市民の声があり、その一方で日本人の家庭に一步も足を踏み入れることなく帰国する留学生の「地域に住む人たちと交流したい」という希望を受けて始めたものです。

企画運営は、NIMICのボランティアが担い、受け入れ家庭募集のため、市民への広報と説明会等の会場確保等を市が担当する協働事業です。受け入れ家庭募集と並行して近隣大学で留学生を募集しますが、毎回受け入れ家庭との人数のバランスを取るのに苦労します。2014年までは、午後の時間を各家庭で過ごした後全員集まって交流パーティーを開いていましたが、参加人数が多くなるにつれ、適当なパーティー会場が見つからず、現在は各家庭で過ごす時間を長くとっています。NIMICは出会うきっかけを提供し、その後は各人の自主性に任せて交流を促していますが、数年にわたり家族ぐるみの付き合いに発展しているケースも耳にします。また、受け入れ家庭としてこの活動に関わり始め、その後運営に携わってくれる人もいて、継続することの大切さを実感します。今後もNIMICの大切な交流事業の1つと位置付けられるものと思われれます。なお、2009～2011年はNPO等企画提案事業「留学生との世代横断的市民交流」の一環で実施しました。

以下は各回の留学生と受け入れ家庭の参加者数と運営に関わった人数です。

	留学生	出身大学	出身国	受入家庭	交流パーティー参加者	実行委員・当日ボランティア等
2007/6/24	15	3	7	13	45	10
2008/6/15	19	3	7	16	50	11
2009/6/21	14	7	4	11	45	12
2010 /6/27	25	7	6	18	75	12
2011/6/26	14※	3	3	8	47	11
2012/6/17	30	6	9	15	83	13
2013/6/16	28	7	10	16	80	14
2014/6/15	29	7	6	19	97	12
2015/6/14	21	7	6	13	—	12
2016/6/19	34	7	12	17	—	12

※2011年は東日本大震災の影響で小規模の開催になりました。



## 西東京市日本語スピーチコンテスト

「西東京市日本語スピーチコンテスト」は西東京市誕生 10 周年記念事業として宝くじ助成金を受け 2011 年に「こもれびホール小ホール」で実施され、その後、継続を望む声に応える形で毎年 10 月に「コール田無多目的ホール」に会場を移し開催されてきました。NIMIC と市内日本語教室スタッフによる実行委員会形式で運営されていますが、市と NIMIC との協働事業であり、初回から市内にキャンパスを持つ武蔵野大学から学長賞や参加賞の提供等の協力を得ています。このコンテストは、日本語力で優劣をつけるものではなく、外国人市民が外国語である日本語で自分の体験や考え、母国への思いなどを語り、会場の観客と感動を共有し、終了後の交流パーティーで互いに語り合うことを大切にしています。ただ、「励みになる」という発表者の声を受け、西東京市長賞、武蔵野大学学長賞、NIMIC 賞ほか、その年に応じた賞が発表者全員に贈られ、審査員には、公募に応じた市民審査員も参加しています。1 回目は初めてとあって 17 人の発表者の参加を得ましたが、2 回目以降は、10 名前後の発表者が出場し、毎回コンテストの前に、子ども日本語教室で学ぶ小中学生からメッセージも発表され、企画運営はすべてボランティアによって行われています。スピーチコンテストの結果はスピーチ原稿を中心に編集した記録誌として纏め発行しており、4 回目以降は記録誌発行のため、市内の団体や企業から協賛を受けています。アンケート結果にはこのスピーチコンテスト継続を望む多くの声があり、今後も NIMIC の大きな事業の一つになるものと思われます。以下は各回の発表者と運営に関わった人数です。

	発表者	観客※1	国や地域	交流パーティー参加者	子どもメッセージ	実行委員・当日ボランティア等総参加者数
2011/10/16	17	155	11	45 ※2	4	223
2012/10/14	9	127	6	80	3	180
2013/10/6	9	111	5	100	3	166
2014/10/5	9	105	5	90	3	158
2015/10/4	10	130	6	80	3	178
2016/10/2	9	87	8	70	4	139

※1 プログラムを受け取った実数で、子ども等は含みません。

※2 「保谷こもれびホールカフェラウンジ・はなみずき」での開催となったため、参加者を限定しました。

## 子ども対象 英語で楽しく！

「子ども対象 英語で楽しく！」は幼児～小学校低学年の児童が、多文化・異文化や聞きなれない言葉に親しみ、それを楽しいと感じる体験を意図したプログラムです。日本の英語教育はアメリカ英語が中心で、英語を話す人は白人という暗黙の了解がありますが、世界では多くの国で肌の色の違う人たちが、共通語としてそれぞれ特徴のある英語を使用しています。肌の色や体の大きさ、異なる言語に最初は戸惑っている子どもたちも、一緒に遊んでいるうちに違いを自然に受け入れていきます。最初は不安そうな表情の子どもたちが、講師に抱き付いて別れを惜しむ様子には、毎年心が和みます。

子どもたちの安全や保護者の安心を考え、2007年の第1回目から、申込窓口や会場整備等に市の協力を得、プログラムはNIMICの企画運営という役割分担で進めています。保護者アンケートでは、毎月開催してほしいという声が多数ある人気イベントですが、ボランティアの企画運営なので年に1回の開催になっています。

当日は年少・年中組と年長・小学1、2年組の2部に分かれ、それぞれ8人ずつほどのグループになります。そこに講師1名とスタッフが付き、グループ活動や全体活動を行います。応募者が多いため、最近では4グループの2部制で行っています。

子どもを対象としたイベントは、南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」の多目的ホールで行っていますが、隣の会議室では保護者を対象に日本の学校で学ぶ外国籍の子どもたちとその保護者の状況をNIMIC子ども日本語教室のスタッフの説明や展示物等で紹介しています。また、2015年からはDVD「多文化共生ってどんなこと？」を上映し、多文化共生への理解を促しています。

以下は、各回の講師の出身国と参加人数です。

開催日	講師出身国	参加人数
2007/3/12	フィリピン・インド・ポーランド	54
2008/3/15	フィリピン・インド	21
2009/2/28	フィリピン・マレーシア・カメルーン	36
2010/3/13	フィリピン・インドネシア・トンガ	53
2011/3/12	東日本大震災のため中止	-
2012/3/10	フィリピン・オランダ・ハワイ・スリランカ	63
2013/3/16	フィリピン・オランダ・トンガ・スペイン	48
2014/3/15	フィリピン・オランダ・ベネズエラ・シンガポール	50
2015/3/14	フィリピン・オランダ・ベネズエラ・シンガポール	48
2016/3/12	フィリピン・オランダ・シンガポール・バングラディッシュ	66

## 多文化体験 with Kids

乳幼児から小学校低学年の児童とその保護者を対象に、2011年から開かれているのが、イベントシリーズ「with Kids」です。シリーズ名は「世界とつながろう with Kids」「子連れ de 多文化体験」「多文化体験 with Kids」と変わってきましたが、コンセプトは同じで、小さな子どもを持つ親世代に楽しみながら世界の文化に触れてもらうこと、子どもも一緒に楽しめることです。小さな子どもがいる家庭が参加するイベントというと子ども主体のものが多く、親が楽しめることを子どもも一緒に楽しんで欲しいという願いをこめて開いてきました。

また、スタッフが子育て中の親が中心であること、日本人と外国人の混合チームであることも特長です。テーマを変えながら行なう中で、多言語で同じ絵本を読み聞かせることを取り入れてきました。これができるのも、子どもが興味を示す多様な絵本が身近にあったこと、外国語ネイティブのスタッフがいて多言語での読み聞かせが気軽にできる状況が整っていたことが大きな要因です。

乳幼児がいることから、会場は田無公民館集会室(和室)や南町スポーツ・文化交流施設きらっとの多目的ホール等を使用しました。2012年度の3回は、市のNPO等企画提案事業に採択され、補助金を得て開催しました。今後も、国や文化の違いを超えて、親が子どもと共に楽しめる機会を作っていきたいと考えています。

以下は各回の開催内容です。

開催日	タイトル	参加者	スタッフ
2011/9/5	韓国語の絵本の読みと手遊び歌	親子 10 組 + 大人 3	7
2011/12/6	英語でクリスマスの絵本と工作(申込多数により 2 部制で実施)	親子 26 組	6
2012/7/2	体験してみよう！いろいろな国の遊び	大人 18、子ども 11	11
2012/10/27	バンブーダンスをおどってみよう！	親子 4 組	8
2013/2/14	韓国の遊びと音楽を楽しもう！	親子 11 組	14
2014/12/27	世界のラッキーアイテムで新年を迎えよう！！	親子 6 組	7 講師 2
2015/12/13	世界の子どものクリスマス	親子 10 組	6
2016/9/22	世界のおやすみなさい	親子 13 組	4

## 多文化サロン(多言語サロン)

2009年に市の外国人住民相談施設として西東京市多文化共生センターが開設され、施設の有効利用を図るために、多文化サロンや多言語サロンが企画されました。現在は言語も文化の一つという考えから、まとめて「多文化サロン」と呼んでいます。市内の日本語ボランティア教室に所属する外国人住民等が公募に応じた小グループの日本人市民を対象に母国のことや西東京市に暮らして感じたことを語り、交流を図り、人間関係を広げていくことが目的です。お茶を飲みながら語り合う1時間程度の会なので、日本語に自信がない人も講師として参加しやすいようです。また多様な文化が身近に感じられると日本人市民にも好評です。

以下はテーマと講師名をまとめた開催実績です。

開催日・期間	テーマ	講師	参加者数
2010/2/5	世界の人とともに その1 ～台湾からの留学生	セン・ヤチ	12
2010/3/1	世界の人とともに その2 ～韓国の多文化家庭	シン・キュソプ	11
2011/7/23	世界の人とともに 特別篇 ～ハンガルの歴史とその世界	神谷 丹路	10
2012/3/9	ギゼラさんが語るリトアニアと日本の生活	ギゼラ・ドブガル	12
2012/5/20	ミニ多文化サロン～スペイン編	スペイン留学生	23
2012/8/3	ペンさんが語るタイの生活と伝統行事	関野 スリヤカモン	13
2012/10/23	劉勇先生が語る中国そして日本	劉 勇	10
2012/11/28	ペンさんのかんたんタイ料理教室～特別篇	関野 スリヤカモン	12
2014/5/18	ミニ多文化サロン～モンゴル編～	ブルテ・エンフムレン	23
2016/11/25	市主催 (NIMIC 委託) 多文化サロン～外国出身の人と語り合おう！～①中国 武漢編	劉 鴻	15
2017/1/27	市主催 (NIMIC 委託) 多文化サロン～外国出身の人と語り合おう！～②スリランカ編	山崎 シルヴァ	

2009/10/4 ～ 2015/1/18	中国語サロン (月2回日曜日、その時の状況に応じて開催)	練 春蘭	4～8
2010/5/17 ～ 2011/12/19	韓国語サロン (月2回月曜日開催)	シン・キュソプ	13～22

※言語と文化を学ぶ一環として、料理教室等も行われました。

※韓国語サロンは、1年半後に独立、韓国語教室として活動しました。

2006/10/9 ～ 2011/9/11	二胡入門講座、体験講座	楊 智	毎回 10
--------------------------	-------------	-----	-------

※年に1～2回開催した年、市民まつりで体験教室を開いた年もありました。



## その他の交流事業

### (1) 共演 ガーナの太鼓・日本の和太鼓

2006年6月に、市内の日本語教室ゆかりのウィンチェスター・ニ・テテさんとその仲間、および保谷和太鼓会の協力を得て、市と共催で音楽イベントを行いました。参加者は100人を超え、「違和感なく違う国の太鼓とリズムが一緒になっていて嬉しかった。太鼓で会話できるってスバラシイ！」などの感想がありました。

### (2) 日本の伝統文化を知る～雅楽

2007年2月に日本雅楽会副理事長でNIMICの監事でもあった鈴木治夫さんと仲間の協力で「雅楽の歴史と楽器・雅楽って？」という講演と雅楽コンサート、伝統楽器の体験イベントを行いました。当日は英語、中国語、ポルトガル語の通訳ボランティアが待機し、必要に応じて通訳を行いました。

### (3) 交流忘年会

2006年～2008年は武蔵野大学で、2009年と2010年はイングビルの北京飯店で留学生、在住外国人、NIMIC会員等の交流忘年会を開催しました。現在は交流忘年会ではなく、毎年10月に実施しているスピーチコンテスト後の交流パーティーとして、形を変えての開催となっています。

### (4) ひょうたん島ワークショップと作品展示・多文化ステージ

2009年～2011年に「留学生との世代横断的市民交流」としてステップアップしながら3年間、市のNPO等企画提案事業に採択された事業の中で、小学生と留学生の多文化ワークショップとして「南町スポーツ・文化交流センター きらっと」で開催したイベントとその展示およびステージです。最初の2年間は、夏休みに2日間かけて、「みんなが楽しく幸せに暮らせる島」の地図を描き、その後グループで多言語劇を演じました。また、アスタセンターコートで、作成した地図を展示し、留学生による多文化ステージを開催、多くの市民の方々に成果を披露しました。3年目は東日本大震災による計画停電の影響で、秋に1日のプログラムとして実施しました。3年間の集大成として『ひょうたん島レポート』（留学生と小学生の多文化ワークショップと周辺事業報告&事業実施のヒント）を作成し、多文化共生事業の普及の一助としました。

なお、2009年のワークショップ参加者数は、留学生16名、小学生38名、スタッフ16名でした。

## 各種講座

多文化共生の地域づくりには、多くの市民の参加が必要です。ボランティアの発掘・育成を目指し、NIMIC では設立当初は助成金を活用し、NPO 法人格取得後は、市の委託を受ける等、市と協力し様々な講座を実施してきました。

2007 年より開かれている様々な講座を大きく分けると、毎年春から夏にかけて行われるボランティア入門・養成講座と主に秋以降実施される活動中のボランティア対象のフォローアップ講座、そして NIMIC 自主講座があります。

ボランティア入門・養成講座は市の主催で、プログラム作りや講師との人脈等専門性を持つ NIMIC の協力のもと開催されています。日本語ボランティア、子ども日本語ボランティア、多文化ボランティアの 3 種類が交互に開催され、2007 年から 2016 年の 10 年間で 330 人が受講しています。

日本語ボランティアフォローアップ講座は市の委託で NIMIC が企画運営し、多文化ボランティアフォローアップ講座は NIMIC の主催講座となっています。

2007 年度から 2016 年度の講座履歴は以下の通りです。講座内容の一例として、2008 年度日本語ボランティア入門講座、2008 年度日本語ボランティアフォローアップ講座、2010 年度多文化ボランティア養成講座と 2014 年度子ども日本語ボランティア入門講座を載せました。

### 【講座履歴】

年度	講座
2007	子ども日本語ボランティア養成講座 8 回 39 名参加
	日本語ボランティアフォローアップ講座 7 回
2008	日本語ボランティア養成講座 17 回 41 名参加
	日本語ボランティアフォローアップ講座 10 回
2009	子ども日本語ボランティア養成講座 9 回＋教室見学 30 名参加
	日本語ボランティアフォローアップ講座 6 回
	外国人のためのリレー専門家相談会スタッフ対象講座 4 回
	自主講座・日本語ボランティア・フォロー講座 3 回
2010	多文化ボランティア養成講座 11 回 32 名参加
	日本語ボランティアフォローアップ講座 7 回
	通訳ボランティア研修会 6 回
	自主講座・日本語ボランティア・フォロー講座 3 回

広がり

2011	多文化ボランティア養成講座 10回 26名参加
	日本語ボランティアフォローアップ講座 7回
	外国人の子どものサポートボランティア入門講座 3回
	自主講座・広報誌入門講座 2回
	自主講座・NIMIC オリエンテーション講座 1回
2012	日本語ボランティア入門講座 9回+教室見学 36名参加
	日本語ボランティアフォローアップ講座 7回
	介護現場の人材不足と外国人の活用 公開講座（東京都・新しい公共支援事業）
	外国人ホームヘルパーサポート講座（東京都・新しい公共支援事業）
	(1)「コミュニケーションの取り方と文化」8回
	(2)「仕事の現場でのさまざまな『書く』コミュニケーション」8回
	自主講座・多文化社会のファシリテーション入門・ワークショップ 1回
	自主講座・イラスト入門講座 1回
2013	日本語ボランティア入門講座 10回+教室見学 40名参加
	日本語ボランティアフォローアップ講座 9回
	初期指導者等研修会①
	自主講座・ファシリテーション講座 Part2 1回
	自主講座・イラスト入門講座 Part2 1回
2014	子ども日本語ボランティア入門講座 11回+教室見学 41名参加
	日本語ボランティアフォローアップ講座 7回
	初期指導者等研修会②③
	自主講座・アフリカの写真をとっておして考える多文化共生 1回
	自主講座・朗読入門講座 Part 1 1回
2015	多文化ボランティア入門講座 10回 20名参加
	日本語ボランティアフォローアップ講座 7回
	初期指導者等研修会④
	自主講座・朗読入門講座 Part2 1回
	自主講座・子どもの遊びワークショップ 1回
2016	日本語ボランティア入門講座 8回+教室見学 25名参加
	日本語ボランティアフォローアップ講座 7回
	自主講座・スナップ写真講座 1回
	自主講座・アートみる講座 1回

【2008年度 日本語ボランティア養成講座】【\*印リレー相談会ボランティアも対象】

回	タイトル	講師
1	*日本にいる外国人の現状、国・地方自治体の施策	国立国語研究所 野山広

2	西東京市の外国人と多文化共生に関わるボランティア活動	生活文化課 NIMIC
3	異文化コミュニケーション・ワークショップ	明治学院大学 村野節子
4	*外国人の法律について	弁護士 大木和弘
5	地域型日本語教育の可能性	東京外国語大学 伊東祐郎
6	日本語①日本語を客観的に眺める方法としての文法	国立国語研究所 森篤嗣
7	*災害時の外国人支援について	多文化共生センター東京 田中阿貴
8	日本語を教えるってどんなこと？	武蔵野大学 堀井恵子
9	日本語②外国人の質問から学ぶ日本語の語彙と文法	国立国語研究所 森篤嗣
10	グローバル採用の現状と日本企業での活用を阻む壁	(株) ジェイエーエス 小平達也
11	日本語③外国人の質問から学ぶ日本語の語彙と文法	国立国語研究所 森篤嗣
12	学齢期の外国籍の子供の教育と家族	中国帰国者定着促進センター 渡辺(斉藤) 恵
13	バイリンガル児育成と日本語学習支援	イースタン・ミシガン大学 橋谷仁美
14	日本語文法をどう使いこなすか	海外技術者研修協会 春原憲一郎
15	地域づくりの拠点としての日本語教室	武蔵野市国際交流協会 宮崎妙子
16	市内各団体の紹介と今後に向けて	生活文化課 NIMIC
17	*都内リレー専門家相談会から見えてきたこと	武蔵野市国際交流協会 藤谷純子

【2008年度 日本語ボランティアフォローアップ講座】

回	タイトル	講師
1 2	外国にルーツを持つ子どもの日本語学習支援ワークショップ『書くこと・作文』①②	東京学芸大学国際教育センター 齋藤ひろみ
3	初期指導、漢字指導、教材	江戸川区立葛西中学校日本語学級 小川郁子
4	子どもの母語と母文化 ～フィリピンボックス・ミニワークショップと実践報告～	ピナツボ復興むさしのネット・専門学校講師 出口雅子

5	教科学習を目指した日本語指導	NPO 中学・高校生の日本語支援を考える会・神奈川県立神奈川総合高校国語科 樋口万喜子
6	地域日本語教室の様々な活動～親子で学ぶ・多言語で楽しむ～	目黒区日本語教室「くれよん」・多言語絵本読み聞かせの会レインボー 石原弘子
7	大人社会との関係づくり ～敬語とその周辺の言葉～	東京外国語大学多言語・多文化教育研修センター学習支援専門員 河北祐子
8	漢字を学習するとは～非漢字圏出身の方の体験学習法～	トーマス・ロウ（オーストラリア出身）
9	生きた日本語を教えるくふう	武蔵野大学大学院 佐々木瑞枝
10	地域日本語教室の学習～『にほんご宝船』ワークショップ～	日本大学総合科学研究所 『にほんご宝船』共著者 中村律子

【2010 年度 多文化ボランティア養成講座】

回	タイトル	講師
1	多文化化する日本社会と多文化ボランティアの役割	東京外国語大学多言語・多文化教育研究センタープログラムコーディネーター 杉澤経子
2	西東京市の外国人・支援ボランティアなど	市の担当者・外国人支援ボランティア
3	異文化コミュニケーション（コミュニケーション能力の必要性）	武蔵野大学講師 村野節子
4	多文化社会に求められること	早稲田大学国際教育学・開発教育 山西優二
5	地域社会における外国人の居場所	四谷ゆいクリニック 石塚昌保
6	ファシリテーション・プレゼンテーションについて	ウジャマ・ジャパン事務局長、MIA 日本語学習支援コーディネーター 宮崎妙子
7	地域社会における通訳・通訳ボランティアについて～コーディネートなど運営面の課題	横浜市国際交流協会 藤井美香
8	災害時の外国人支援（船橋市での取り組みから）	多文化共生センター東京



		田村太郎
9	多文化社会に向けて～課題から企画へ グループワーク①	NPO 法人子どもアミーゴ西東京 坂口和隆
10 11	グループワーク②③	NIMIC、立教大学講師 山辺真理子

【2014年度 子ども日本語ボランティア入門講座】

回	タイトル	講師
1	外国につながる子どもの教育を施策面から考える	国立国語研究所 野山広
2	外国につながる子どもたちの教育 第2 言語習得理論の基礎	東京女子大学 石井恵理子
3	外国につながる子どもたちの背景と進路	NPO 法人青少年自立援助センター ピッチフォード理絵
4	異文化ワークショップ 子どもたちの気持ちに近づこう	公立小学校教諭 秦さやか
5	子どもの日本語教育（1）～はじめの一步～	中国帰国者定着促進センター 齋藤恵
6	子どもの日本語教育（2）～子どもが楽しく学ぶ工夫～	千葉県教育委員会「帰国・外国人児童生徒学習支援相談」相談員 井上恵子
7	子どもの日本語教育（3）～教科を意識した日本語指導～	NPO 法人日本語・教科学習支援ネット・神奈川県立神奈川総合高校国語科 樋口万喜子
8	子どもたちの保護者やボランティアスタッフの経験談／活動を支える周囲の状況	ボランティアスタッフ・保護者・NIMIC 担当者
9	見学の振り返り／今後の活動に向けて	ボランティアスタッフ・市職員・NIMIC 担当者
10	多文化共生のまちづくり～地域コミュニティにおける防災・減災の取り組み	公益財団法人仙台国際交流協会 菊池哲佳
11	異文化ストレスと対人コミュニケーション	四谷ゆいクリニック 田中ネリ

## 日本語ボランティア連絡会について

2001年に田無市と保谷市が合併し西東京市が誕生した時点で、両市に5つの日本語ボランティア団体が存在していました。情報交換と協力のために、西東京にほんご教室(旧保谷にほんご教室)が呼び掛け、2002年5月に5団体が集まり広報のための共通チラシを作り、市の窓口に置けるようになりました。その後、ゆるやかなネットワークとして「日本語ボランティア連絡会(以下、連絡会とします)」を結成し、年に数回の協議を持ち、広報活動としてパネル展示、スピーチコンテスト、音楽を通じての交流行事、バスハイク等を開催しました。

一方、市は、日本語ボランティアを養成する入門講座を日本語教師ユニオンに委託して開催していましたが、2003年から連絡会が体験実習に協力するようになり、講座終了後の教室立ち上げもサポートしました。その際、既存の教室と曜日や時間が重ならないよう互いに調整しました。

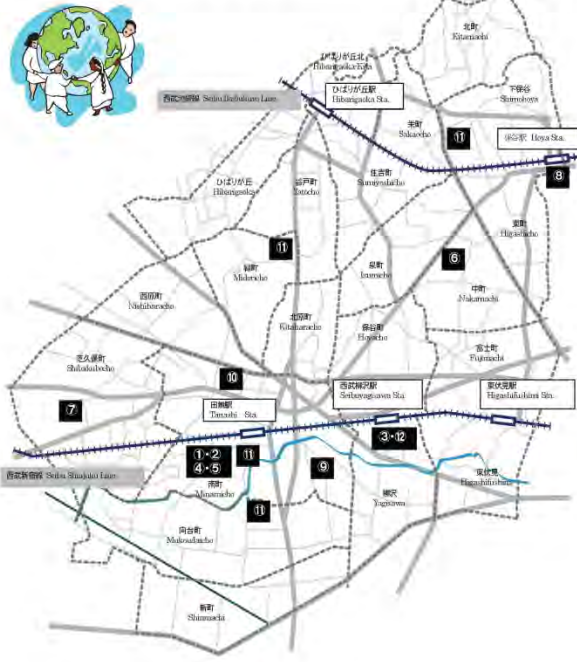
2005年4月には連絡会の中の3団体から4人の有志が集まり多言語部会を結成、翻訳等に外部の協力者を得て、市報抜粋多言語版「くらしの情報」の発行を始めました。同時に、ゴミの出し方、保育園・児童館案内など生活情報の多言語化も進めました。ただ、各日本語教室の活動と並行して少人数で多言語部会活動を継続するのは難しく、2006年3月にNPO法人西東京市多文化共生センター(発足時は別称、2008年法人格取得、以下NIMICとします)が発足したことを受けて、2006年7月から多言語活動はNIMICに移管されました。

2007年から、NIMICが入門講座の企画運営に協力するようになり、体験実習は各日本語教室で実施され、2008年以降は市の委託を受け各日本語教室の希望を採り入れフォローアップ講座をNIMICが実施しています。2011年から市と共催でNIMICが開催している日本語スピーチコンテストは、連絡会の場で日本語教室への協力を呼び掛け、実行委員会にも有志の参加を得ています。

2009年以降NIMICが交流イベント等を開催するようになり、各団体では負担を減らすため連絡会の解散も検討されましたが、教室活動のための情報交換の場として現在は年に2回開催されています。

必要とする1人でも多くの外国人に情報を届けたいという思いで2004年に5団体7教室掲載のA4で1枚の日本語ボランティア教室一覧の作成が、連絡会結成のきっかけとなりました。2005年には7団体9教室、2009年には12教室となり、現在では地図と英語情報が入るA3両面印刷の一覧表が市内公共施設に置かれ、Web上でも入手可能となっています。

にしとうきょうしにほんご ほんご てい あ きょうしつあんない  
**西東京市日本語(ボランティア)教室案内**  
**Japanese Classes (by Volunteers) in Nishitokyo**



2016年4月1日版

1 月 Mon

にほんごきょうしつ  
**TIC日本語教室**  
 TIC Japanese Class

- ①月曜日 Mondays 19:00~20:30
- ②西東京市田無庁舎2階ほか  
 City Office Tanashi Building 2F etc  
 西武新宿線(田無駅)南口下車 徒歩3分  
 Seibu-Shinjuku Line Tanashi Station South Exit / 3min.walk
- ③河野 (M.Kono) Tel 042-451-3121  
 michikonon@com.home.ne.jp  
 友野(H.Tamano) Tel 042-469-2362  
 histomo2200@ybb.ne.jp  
<http://blog.compan.info/tyovng/>  
 ④200円/月 200yen per month  
 ⑤少人数レッスン Small group lesson  
 いつからでも OK Come to join us at any time.

2 火 Tue

ゆうあい にほんごきょうしつ  
**You-I 日本語教室**  
 You-I Japanese Class

- ①火曜日 Tuesdays 10:00~12:00  
 (旧 西東京友愛協会)
- ②田無公民館 Tanashi-Kominkan  
 西武新宿線(田無駅)南口から徒歩3分  
 Seibu-Shinjuku Line Tanashi Station South Exit / 3 min. walk
- ③Tel:090-9131-6671 石塚(M.Ishizaka)  
 E-mail: mimi33@cl.cis.net  
 Tel: 042-478-2085 澤山 (K.Sawayama)
- ④100円/月 100yen per month  
 ⑤個人・少人数レッスン Private or small group lesson  
 入会時期 いつからでも OK  
 Welcome anybody to the class at any time.

3 火 Tue

にほんご こうりゅう  
**『日本語』で交流・**  
 にじ かい かようび  
**虹の会 火曜日**

**Nihongo de koryu Nijinokai**

- ①火曜日(日曜を除く) 19:00~21:00  
 Tuesdays except 5th Tuesday
- ②柳沢公民館 Yagisawa-Kominkan  
 西武新宿線(田無駅)南口下車 徒歩3分  
 Seibu-Shinjuku Line Seibuyagisawa Station South Exit / 1 min. walk
- ③友野 (H.Tamano) Tel 042-469-2362  
 ねもと(Y.Nemoto) Tel & Fax 03-3929-7695  
 E-mail: nihongo123@hotmail.co.jp
- ④無料 Free of charge  
 ⑤個人・少人数レッスン Private or small group lesson  
 どんなんレベルも、いつからでも、だれでも OK  
 Anybody at any level can join us at any time.

4 水 Wed

たなしにほんごきょうしつ  
**TIC田無日本語教室**  
 TIC Tanashi Nihongo Class

**TIC Tanashi Nihongo Class**

- ①水曜日 Wednesdays 10:00~12:00
- ②西東京市田無庁舎2階ほか  
 City Office Tanashi Bldg. 2F etc  
 西武新宿線(田無駅)南口下車 徒歩3分  
 Seibu-Shinjuku Line Tanashi Station South Exit / 3min.walk
- ③川野(K.Kawano)090-7247-6930  
 古田(M.Furuta)090-2449-7852
- ④200円/月 200yen per month  
 ⑤個人・少人数レッスン Private or small group lesson  
 いつからでも OK Come to join us at any time.

①日時 date&time ②場所/交通 place/access

③連絡先 contact ④会費 fee ⑤その他 other info.

5 木 Thu

にほんご はな かい  
**日本語を話す会**  
**Nihongo o Hanasu Kai**

- ①木曜日 Thursdays 10:00~12:00
- ②西東京市田無庁舎2階ほか  
 City Office Tanashi Building 2F etc  
 西武新宿線(田無駅)南口下車 徒歩3分  
 Seibu-Shinjuku Line Tanashi Station South Exit / 3min.walk
- ③Tel 090-2672-0861 堀内良子[R.Horiuchi]  
 090-3427-1922 菊池正子[M.Kikuchi]  
 E-mail: rhoruchi@com.home.ne.jp
- ④無料 Free of Charge  
 ⑤個人・少人数レッスン Private or small group lesson  
 いつからでも OK Come to join us at any time  
 保育・応相談 Child care: Please consult with staff  
 アットホームな雰囲気・季節の行事あり Enjoy  
 homey atmosphere and seasonal events.

6 金 Fri

にほんご こうりゅう  
**『日本語』で交流・**  
 にじ かい きんようび  
**虹の会 金曜日**

**Nihongo de koryu Nijinokai**

**Friday Class**

- ①金曜日 Fridays 10:30~12:30
- ②西東京市東分庁舎・地下(保谷市役所裏)  
 Nishitokyo shi Higashi buncuho  
 西武池袋線-保谷駅 南口下車 徒歩10分  
 Seibu-Ikebukuro Line Hoya Station South Exit / 10 min. walk
- ③Tel 042-467-6966 永森正夫 (M. Nagamori)  
 Tel 042-422-8563 山本浩晴 (H.Yamamoto)  
 E-mail: hiroharu@xd.com.ne.jp
- ④無料 Free of charge  
 ⑤個人レッスン one-to-one lesson

9

にしとうきょうしこくさいこうりゅうきょうかいかい  
**西東京市国際交流協会**  
**(NIIA) 日本語教室**

**Nishitokyo shi International Association**

**日本語教室**

- ①週1回 1時間30分または2時間  
 Once a week, 90min. or 2 hours
- ②月曜、火曜、水曜、金曜の午前または午後  
 Mon, Tues, Wed, Fri. in the morning or afternoon
- ③町地区会館 Minamicho Chika Kukan  
 2-1-9 Minamicho Nishitokyoshi  
 西武新宿線(田無駅)北口下車 徒歩10分  
 Seibu-Shinjuku Line Tanashi Station North Exit / 10minute walk
- ④Tel 042-463-0047 くぎみや(Kugimiya)  
 042-469-4277 うまつ(Uematsu)
- ⑤200円/月 200yen per month  
 ⑥1週1回の個人授業 one student and one  
 volunteer teacher at a time in a cozy room.  
 From beginners to upper levels

10

にほんごきょうしつ  
**日本語教室「とびら」**  
**Japanese Language Class TOBIRA**

**日本語教室「とびら」**

**Japanese Language Class TOBIRA**

- 週3回 テキストにそって基礎から勉強  
 Let's study 3 times a week with the textbook
- ①初級: 火・木・金 Tue, Thu, Fri 9:30~11:30  
 漢字クラス 月 Mon 9:30~11:30
- ②田無総合福祉センター1F ボランティア活動室  
 Tanashi-fukushi center 1F Volunteer room  
 西武新宿線(田無駅)北口下車 徒歩7分  
 Seibu-Shinjuku Line Tanashi Station North Exit / 7min.walk
- ③Tel 090-5777-0974 とびら(Tobira)  
<http://www.nihongokoshitaidaira.web.fc2.com>
- ④2,000円/月 2,000 yen per month  
 漢字クラス 1,000円/月 1,000 yen per month  
 ⑤グループレッスン group lesson

7 土 Sat

しばくほ にほんごきょうしつ  
**芝久保日本語教室**  
**Shibakubo Japanese Class**

**Shibakubo Japanese Class**

- ①第1~3土曜日 1st-3rd Saturdays  
 13:00~14:30 (8月は夏休み except Aug.)
- ②芝久保地区 会館 Shibakubo-chikukaukan  
 西武新宿線 花小金井駅北口下車 徒歩12分  
 Seibu-Shinjuku Line Hamakoganei Station North Exit / 12min.walk
- ③Tel 042-460-0255 佐々木(S.Sasaki)  
 042-463-0743 秋山(T.Akiyama)
- ④100円/月 100yen per month  
 ⑤個人・少人数レッスン Private or small group lesson  
 いつからでも OK Come to join us at any time  
 児童生徒 要相談 Children's program  
 consult with staff

8 土 Sat

にしとうきょう  
**西東京にほんご教室**  
**Nishitokyo Nihongo Class**

**Nishitokyo Nihongo Class**

- ①土曜日(祝祭日を除く) 14:00~16:00  
 Every Saturday except national holidays
- ②保谷駅前公民館/ステアビル5F  
 Hoya-daimae Kominkan / STEA Bld.5F  
 西武池袋線 保谷駅 駅ビル  
 Seibu-Ikebukuro Line Hoya Station Bldg.
- ③あらい(Arai) Tel 042-421-7843  
 みむら(Mimura) Tel 03-3929-0469  
 tresbien@bz.t-com.ne.jp (Mimura)  
<http://blog.compan.info/nihon/>
- ④500円/年 500yen per year  
 ⑤個人・少人数レッスン Private or small group lesson  
 どんなんレベルも、いつからでも、だれでも OK  
 Anybody at any level can join us at any time.  
 日本の季節の行事もあります。  
 Enjoy Japanese seasonal events.

11 NIMIC

こ にほんごきょうしつ  
**子ども日本語教室**  
**Japanese Class for Kids**

**Japanese Class for Kids**

- 対象 市内小・中学校に在籍する児童、生徒  
 For: Grade schoolers and junior high school students who live/attend school in Nishitokyo.
- ①小学生 Grade school level  
 火曜 保谷第一小・水曜 田無 同小  
 15:30~17:00、水曜 Wed. 谷戸小 15:45~16:45
- ②中学生 Junior high level 木曜 (Thursday)  
 18:00~19:30 イングビル Ing Bld. 3F
- ③TEL/FAX:04246100381  
 Email: lexkoms@nimic.jp <http://www.nimic.jp/>
- ④無料 Free of charge  
 ⑤学校生活への適応をサポートします。  
 Adjustment to school life will be supported.  
 参加申し込みはクラスの先生か、NIMICへ。  
 Please ask school teachers or NIMIC.

12

こぞだ ちゆう がいこくじんじせい  
**「子育て中の外国人女性の**  
**ための日本語講座」**

**「子育て中の外国人女性の**

**ための日本語講座」**

- You can learn Japanese and about bringing up children at this class. Professional child care for above 6months up to 3yrs old is available.
- ①会費日 月 10:00~12:00 年間コース  
 1 (5/13~7/15), II (9/2~12/9), III (1/13~3/10)
- ②柳沢公民館 Yagisawa Kominkan  
 西武新宿線 西武柳沢駅南口 徒歩1分  
 Seibu-Shinjuku Line Seibuyagisawa Station South Exit / 1 min. walk
- ③Tel 042-464-8211 Fax 042-464-8212
- ④保育おやつ代 1回50円 50yen for kid's snack  
 ⑤対象: 西東京市内に住んでいる子育て中の  
 女性15名 (コースが始まる前に申し込んでくださ  
 い) 15 foreign mothers living in Nishitokyo  
 and bringing up children can join. Need to  
 apply before the class starts.

広がり

## 西東京市日本語ボランティア教室

西東京市内には、11の日本語ボランティア教室に公民館主催のお母さんのための保育付き教室が加わり、全部で12の日本語教室があります。1992年、有志によって旧田無市に最初の日本語教室が開設された後、2市合併後市主催で順次開催された日本語ボランティア講座の修了に伴い、次々に日本語教室が立ち上げられ現在に至っています。周辺の市に比べると教室数は多く、月曜日から土曜日まで毎日どこかで教室が開かれています。学習者にとっては、毎日学ぶことも可能な環境にあり、週に複数の教室に通っている学習者も多数います。いくつかの教室に通っている学習者の場合、学習者の希望によっては各教室のスタッフ同士が連携をとることもあります。



以下は各日本語教室の紹介です。教室名、開室の曜日と時間、活動場所の他、

1. 開設の年月、2. 開設の経緯、3. 教室の特性の順に表に記載してあります。

### TIC日本語教室

月曜日 19:00~21:00

イングリッシュ等田無駅周辺



1	1992年5月
2	西東京市（開設時は田無市）に在住する外国人が増え、日本語を学ぶ場がなくて、困っている人が多くなった。そのような状況の中で、日本語学習の支援や生活支援の必要性を感じた有志によって、ボランティア活動を行うこととなり、現在に至っている。
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習者の母語、ニーズ、日本語レベルに合わせた少人数グループによる学習支援。</li> <li>・学習者には各種イベントを通して、日本語文化を体験してもらい、同時に学習者との文化交流を図っている。</li> <li>・夜間クラスであるため、学習者は勤労者や学生が多い。</li> </ul>



You-I 日本語教室  
 火曜日 10:00～12:00  
 田無公民館など



1	2003 年
2	2002 年の日本語ボランティア養成講座の有志で活動をはじめた。スタッフも学習者も手探り状態で、共に学びながら今日に至っている。
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習者のニーズに合わせ、マンツーマンを基本に日本語支援を行っている。</li> <li>・学習者は主婦が多く、教室は学習者同士がつながる場にもなっている。</li> <li>・お花見や盆踊りなどの季節の行事を体験したり、学習者の母国料理を皆で作るなどの料理教室を開いて楽しんでいる。</li> </ul>



『日本語』で交流・虹の会（火曜夜）  
 火曜日 19:00～21:00  
 柳沢公民館



1	1996 年 9 月 3 日
2	柳沢公民館主催の「外国人とともに生きる地域を考える講座」受講生有志が講座終了後に開設した。その後スタッフ、学習者は入れ替わりつつも活動は継続している。
3	火曜日夜 7～9 時という活動時間から、学習者は留学生や社会人を中心に小・中学生までと幅広く、日本語のレベルや要望も様々。日本語学習を支援しながら、お互いの文化や習慣を理解し合い、地域の中での交流をめざしている。

広がり



### TIC 田無日本語教室

水曜日 10:00～12:00

田無庁舎など



1	1992年5月夜間教室として開設。その後、希望者が増加したため、2002年、昼の教室を併設。2015年に昼間の教室として独立。
2	西東京市及び近隣に在住する外国人への日本語学習及び生活支援を行うために有志によるボランティア活動の場として開設した。
3	平日の午前という時間帯のため、主婦が多い。日本人と結婚していて日常会話には困らないが、きちんとした日本語を学習したいと希望する人が多いため、一定期間同じ支援者を当て、文法や語彙などの学習支援に重点をおいている。入門、初級者には個別指導によるきめ細かな対応を心がけている。新年会、文化交流会などを通じて、異文化交流にも努めている。長期にわたって通ってくる人が多い。



### 日本語を話す会

木曜日 10:00～12:00

イングリルなど



1	2004年4月
2	2003年日本語ボランティア養成講座受講者の有志によって開設。
3	毎週木曜日 10:00～12:00 田無公民館、田無庁舎、イングリルで活動。学習者がボランティアと共に、いつからでも誰でも気軽に楽しく日本語を学び、話すことを目指している。別の時間に、日本語を話す会だけでなく希望者とテニス、手芸を楽しんでいる。

「日本語」で交流・虹の会 金曜日

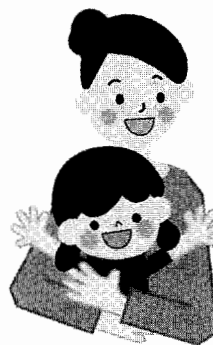
金曜日 10:30～12:30

東分庁舎（保谷庁舎裏）



1	1997年3月
2	1996年6月 柳沢公民館「外国人と共に生きる地域を考える講座」の参加者有志が講座終了後、火曜日夜に「日本語」で交流・虹の会を開設。その活動の中で知り合った外国人の中から昼間の教室の開設要望が出たため。
3	教室が平日の午前中であることから、ボランティアは女性が多く、外国との関わりや経験を持ち、地元の生活情報にも精通。男性はリタイアした人が多い。学習者は日本人と結婚した女性が多く、来日間もなく職につくまでの男性、語学教師や午後から日本語学校へ行く男女など。学習者とマンツーマンで希望する内容に対応している。駅の近くではないため、交通不便で学習者は少人数で推移。

広がり



柳沢公民館主催事業（保育つき）

子育て中の外国人女性のための日本語講座

金曜日 10:00～12:00

年間3期

【第1期（5月～7月）、第2期（9月～12月）、第3期（1月～3月）】

1	2006年10月
2	2006年度に、日本語以外の言語を母語とする子育て中の市民を対象に保育付き講座としてスタート。当初の名称は、外国人支援講座「外国人のための『生活に役立つ日本語講座』」。2012年度から現在の名称。
3	西東京市在住の子育て中の女性が対象。受講者は、就学前の乳幼児を保育室に預けて、学習することができる。毎年度、4月に受講者を募集するが、定員に達していない場合は、年度途中からの受講希望にも応えている。

芝久保日本語教室  
第1～3 土曜日 13:00～14:30  
芝久保公民館



1	2001年4月
2	英会話サークルが母体となり、日本語の勉強を必要としている外国人にボランティアで日本語の勉強を支援する。
3	アットホームな雰囲気の中で、学習者のニーズに即した支援を行っている。



広がり

西東京にほんご教室  
土曜日 14:00～16:00  
保谷駅前公民館など



1	1995年4月1日
2	1993年から旧保谷市（生活文化課）の協力を得て、国際市民交流ボランティア協会が開いていた日本語教室が閉鎖された。存続を望む声を受けて、その教室の有志3人が中心となり「保谷にほんご教室」を立ち上げた。市の合併に伴い「西東京にほんご教室」と改称し現在に至る。
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習者は小中学生、日本人の配偶者、ビジネスマンなど多様。ボランティアスタッフは、高校生から80代で、男女ほぼ半数ずつ在籍している。</li> <li>・原則はマンツーマンで各自のニーズに合わせて学習している。</li> <li>・四季折々の日本の行事(お花見、七夕、クリスマス会等)を共に楽しみ また、お茶会、書道、折り紙など日本の文化も伝承している。</li> <li>・入室随時</li> </ul>



西東京市国際交流協会日本語教室  
(NIA 日本語教室)



1	2000年代初期
2	南町地区会館を利用し個人授業を開始。
3	教室開催曜日時間を特定せず、受講者とボランティアとの都合に合わせて週1回の曜日と時間を決め、1対1の個人授業を原則としている。

日本語教室「とびら」  
 文法会話クラス 火・木・金  
 9:30～11:30  
 漢字クラス 月曜日  
 9:30～11:30  
 田無総合福祉センター



1	2006年9月
2	日本語を初めて勉強する人たちから日本語学習を継続的に、学習場面を多く作りたいという双方の声から生まれた（文法会話クラス、漢字クラス）
3	文法会話クラス 3回/週 6時間の学習 テキスト使用 漢字クラス 1回/週 2時間の学習 テキスト使用



### NIMIC 子ども日本語教室

- ・小学部 保一教室 火曜日 15:30～17:00 保谷第一小学校  
 谷戸教室 水曜日 15:15～16:45 谷戸小学校  
 向台教室 木曜日 15:30～17:00 向台小学校
- ・中学部 木曜日 18:00～19:30 イングビル他

1	2007年9月
2	日本語指導が必要な児童・生徒が増える中、子どもを対象とした教室がなかったため、市の養成講座をきっかけに設立された。
3	西東京市教育委員会との覚書に基づき両者の協力によって行われている。子どもの出身国、家庭環境、学齢、能力等、多様な背景に対応するため指導はマンツーマンで行っている。スタッフは成長期である子どもの心理面にも気を配り、子ども・保護者との信頼関係を大切にしている。



学習の様子（中学部）







12月のお楽しみ会（小学部）

広がり

## NIMIC の広報活動について

ここまで市の委託や協働を含め NIMIC の事業内容を中心に支援活動、交流活動、ネットワークを広げる啓発活動を中心にまとめましたが、これらのどんな活動も活動の輪を広げていくことが大切です。この認識に沿って NIMIC は設立以来、次のような多文化共生の周知活動、すなわち NIMIC の広報活動を展開してきました。主なものは次表のとおりです。

広がり

<p>NIMIC ホームページ</p> <p><a href="http://www.nimic.jp/index.html">http://www.nimic.jp/index.html</a></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NIMIC 公式ホームページは 2006 年 7 月に開設。</li> <li>・ 右は 2011 年東日本大震災直後の外国人向け情報。</li> <li>・ 2017 年から Facebook 開始</li> </ul>	
<p>会員向けメルマガ 「NIMIC 通信」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2006 年 5 月から、NIMIC 会員向けに毎月 1 回送られているメールマガジン。</li> <li>・ 右は 2014 年 7 月の 100 号記念。</li> </ul>	
<p>広報誌 「多文化のわ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2011 年から発行の広報誌で、現在は年 2 回発行。</li> <li>・ 会員及び関係団体等へ送付、イベント時に配布。</li> </ul>	
<p>PR 活動 (例) 西東京市市民まつり 参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西東京市民との交流の場として、市民の方に NIMIC を知ってもらう機会として、2007 年から毎年参加。</li> </ul>	

2016 年 6 月に実施した「多文化共生アンケート調査」でも、もっとたくさんの人に NIMIC の活動を知ってもらうように広報活動の充実を指摘するご意見が多く寄せられました。多文化共生の活動をより多くの市民の皆さんに知ってもらい参加してもらうために、今後とも交流につながる広報の充実が必要だと思われま